

# 生活保護受給者の健康管理支援等に関する 検討会における議論のまとめ

# 生活保護受給者の健康管理について

## 趣旨

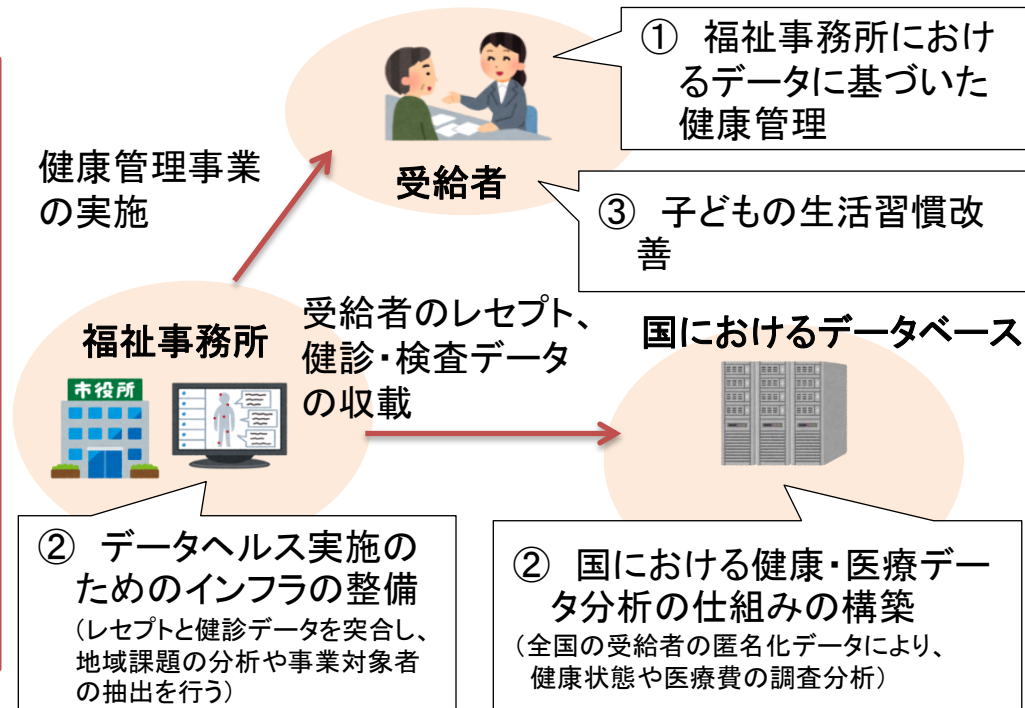
〈平成29年4月の検討会における議論のまとめ〉

- 生活保護受給者は、医療保険の加入者等と比較して生活習慣病の割合が高いが、健診データ等が集約されておらず、生活習慣病の予防・重症化予防の取組が十分には実施できていない。
- 医療保険におけるデータヘルス※を参考に、データに基づいた生活習慣病の予防・重症化予防の推進、それによる医療扶助費の適正化を進めることが必要である。
- 生活保護世帯の子どもは健康的な生活習慣が確立していない場合が多いことから、子どもについても、学校健診等のデータを入手し、学校等と連携して適切な生活習慣の確立に取り組むことが望まれる。

※ 健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施

## 取組の方向性

- ① 全国の福祉事務所において、生活習慣病の予備群と該当者に対するデータに基づいた健康管理の実施
  - 取組の手順・内容の標準化を行い、PDCAサイクルにより計画的に推進
  - 医療扶助費の適正化につながる
- ② 受給者のデータヘルス実施のためのインフラ整備、国が健康・医療データを分析するための仕組みの構築
- ③ 子どもの生活習慣改善を目指した取組のモデル実施



## 今後の予定

生活保護法の制度改正に向けて、データヘルス実施の枠組みや具体的な実施方法、情報システムの構築について、更に検討を進める。また、子どもの生活習慣改善を目的とした取組のモデル的な実施を検討。

# 生活保護受給者の健康管理支援等に関する検討会について

## 【構成員名簿】

(五十音順・敬称略) ◎:座長

岡山 明	生活習慣病予防研究センター代表	津下 一代	あいち健康の森健康科学総合センター長
◎尾形 裕也	東京大学政策ビジョン研究センター特任教授	藤内 修二	大分県福祉保健部参事監兼健康づくり課長
小田真智子	川崎市健康福祉局生活保護・自立支援室	中板 育美	日本看護協会常任理事
	医療・介護係長	松本 吉郎	日本医師会常任理事
小枝恵美子	全国保健師長会常任理事		

## 【開催実績】

- 第1回 平成28年7月26日 「生活保護受給者の健康管理の在り方に関する研究会」の報告書に基づいた実施状況の報告等
- 第2回 平成28年9月21日
- ・有識者のヒアリング
  - ・健康支援の介入方法について
  - ・その他
- 第3回 平成28年11月30日
- ・第2回検討会における指摘事項について
  - ・健康管理支援の実施方法
  - ・健康管理支援の評価方法
- 第4回 平成29年1月18日
- ・第3回検討会における指摘事項について
  - ・生活保護受給者の医療・健診データ等の情報基盤の構築について
  - ・子どもへの健康支援について
- 第5回 平成29年4月7日
- ・議論のとりまとめ案について

◆ 平成29年5月11日 データに基づいた生活保護受給者の健康管理支援について(議論のまとめ)を公表